

JA全農かながわ公式HPリニューアル

本会事業・神奈川農業の魅力発信を強化

JA全農かながわは公式サイトをリニューアルし、1月29日に公開した。

今回6年ぶりとなる全面リニューアルでは、ユーザーが使いやすいウェブサイトを目指し、デザインや操作性を見直した他、新規コンテンツの開設で県内農業の魅力や営農情報の発信を強化する。パソコン画面だけでなく、スマートフォンなどモバイル端末での表示にも対応している。



リニューアルした公式HP（パソコン版）

■都市農業の風景を

トップページには、JA神奈川県中央会と神奈川新聞社で共催する「かながわ"農"のある風景写真コンクール」の受賞作品を掲載し、都市と農業が調和した神奈川県ならではの農の魅力を発信している。

■対象者別にページを分類

ユーザーが探しているページを簡単に見つけられるよう、消費者と生産者・JA関係者別に分類したページ

を開設。「消費者のみなさまへ」ページでは、本会が提供する暮らしに役立つサービスや食の情報を掲載し、「生産者・会員JAのみなさまへ」ページでは「JAグループ神奈川推奨型式」など営農に役立つ情報をまとめている。

■農畜産物情報が満載

代表的な県産青果物を紹介するページ「お米・青果物」、秦野総合工場の乾麺や加工品などの商品情報をまとめたページ「乾麺・オリジナル加工品」を開設し、県産農産物や本会事業をPRする。

「やまゆりポーク」ページでは、こだわりの飼育方法や食育活動、取り扱い飲食店などを画像付きで豊富に掲載し、生産者の思いや魅力の発信を強化した。

■組合員の資産運用をサポート

「住まいと土地活用」では、JAグループの強みである「施主代行方式」を動画やフロー図を使って分かりやすく紹介している他、「土地活用」や「マイホーム建築」、「リフォーム」など目的別に分類した入り口を設置。問い合わせフォームも設置し、興味を持った方はメールでより具体的な問合せや質問ができる。

■広報誌（電子版）を掲載

月刊JAグループ神奈川（全農の頁）、施設事業広報誌「スキップ」など各種広報誌の最新号から過去の記事まで、パソコン、モバイル端末で閲覧できる。

JA全農かながわのホームページはこちら
<https://www.zennoh.or.jp/kn/>



入居者W特典でお得に住める!

～賃貸のお部屋をお探しなら(株)ジェイエーアメニティーハウスへ～

(株)ジェイエーアメニティーハウスは、県内JA正・准組合員、JAグループ神奈川役職員を対象に、同社管理の賃貸住宅（一部対象外）に入居すると「契約時」と「更新時」に優遇がある「W特典」を用意している。

どのような物件があるのか、同社が運営する賃貸不動産情報サイト「JAホームネット」で検索が可能。気になる物件があれば、対象物件かどうかお問い合わせを。



旬の果物味わって

JA東京アグリパークで県産柑橘類販売

JA東京中央会は2月9日～13日の4日間、JA東京アグリパーク（東京都渋谷区）で、旬の果物や野菜を楽しむイベント「東京野菜フェア プラス」を開催した。これは新鮮な青果物でウイルスや風邪に負けない体づくりに役立ててもらおうと企画したもの。店内には都内産の野菜に加え、青森県産リンゴやJA全農かながわが供給した県産柑橘類が並び、買い物客は熱心に品定めをしていた。

用意された県産柑橘は青島ミカンやネーブルオレンジ、はるみなど6種類で、新型コロナウイルス感染対策として試食などは行わず、ポップで品種ごとの特徴や食べ方を紹介し、自分好みの柑橘を選ぶ楽しみを提供した。来店客からは聞き慣れない柑橘の産地や販売場所を尋ねる声も多く、JA東京中央会の河合隼佑さんは「お客さまの中には神奈川県在住の方も多し。地元

てもらいたい」と笑顔で話していた。

JA東京アグリパークでは週替わりでイベントを企画しており、インスタグラムや公式サイトで随時情報を発信している。



県産柑橘類などの品物をチェックする河合さん

土壌診断結果講習会を開催

良い土づくり目指そう

JAかながわ西湘は2月12日、「土壌診断結果講習会」を同JA山北支店で開催し、管内の茶農家12人が参加した。毎年実施している土壌診断結果の見方や活用方法を学び、適正な施肥管理に役立ててもらおうと、同JA山北営農経済センターが企画。

講習会ではJA全農かながわと県農業技術センターの職員が講師を担当し、分析項目の見方や管内茶園の傾向を説明した上で、今後の施用対策や土壌改良資材の紹介を行った。

山北地域茶業運営委員会の岩本公治会長は「診断結果の見方や自分の畑の傾向、目指すべき指針が分かったので、今後の施肥管理に生かしたい」と話していた。

全農かながわは、土壌診断を活用した施肥改善を生産者およびJAとともに実践することで、生産者の増収、良品生産を支援し、手取り最大化の実現を目指していく。



熱心に受講する茶農家たち